



快走を見せました



一斉にスタート！

第33回町民駅伝大会

山田宮古道路でタスキつなぐ

10月1日、第33回山田町民駅伝大会が開催されました。今大会の会場は、11月19日に開通する山田宮古道路。開通後は走ることでできないコースに、ことしは62チーム343人が挑戦し、1周約2.2キロメートル(5周約11キロメートル)をタスキでつなぎました。沿道には多くの観衆が訪れて声援を送り、参加した選手らは、道路からの景色を満喫しながら、快走を見せました。なお、小学生男子・女



ドローンで記念撮影

- ▼子の部優勝チームは、青森県南部町駅伝大会へ派遣されます。各部門の優勝チームと記録は次のとおりです。
- ▼小学生男子の部「北っ子オーlustスターズ」50分37秒84
- ▼同女子の部「豊間根ミニバスA」47分10秒30
- ▼中学生男子の部「山中駅伝部男子A」38分32秒86
- ▼同女子の部「山中駅伝部女子A」46分14秒63
- ▼高校生・一般男子の部「熱盛プリキュア」37分56秒96
- ▼同女子の部「豊間根ミニバスC」57分00秒35

鯨と海の科学館 再開後の来館者1万人突破



7月15日に再開した鯨と海の科学館。再開後から多くの方が訪れ、9月30日について来館者が1万人を突破しました。その記念すべき来館者となったのは、篠澤元希君(轟木小2年)と元萌君(同5年)の兄弟。2人には町から記念品が贈られました。「1万人目になれてうれしい」と元希君。元萌君は「鯨や魚が好きで、模型などを見るのが楽しい」と笑顔を見せました。2人は、記念品を受け取った後、早速館内を楽しそうに見学していました。

日本の空守り続けて60年 空自基地の一般開放盛大に



9月24日、航空自衛隊山田分屯基地の創立60周年を記念して、基地の一般開放が行われました。基地内では、救助ヘリ展示や空包射撃訓練が行われ、来場者は興味津々に見学。さらに、F-2戦闘機2機による祝賀飛行が行われました。最大速度マッハ2の飛行は圧巻で、空を裂くように飛び姿に歓声を上げる来場者。坂本凧さん(豊間根中2年)は「戦闘機が飛び姿はカッコよかったです」と目を輝かせていました。